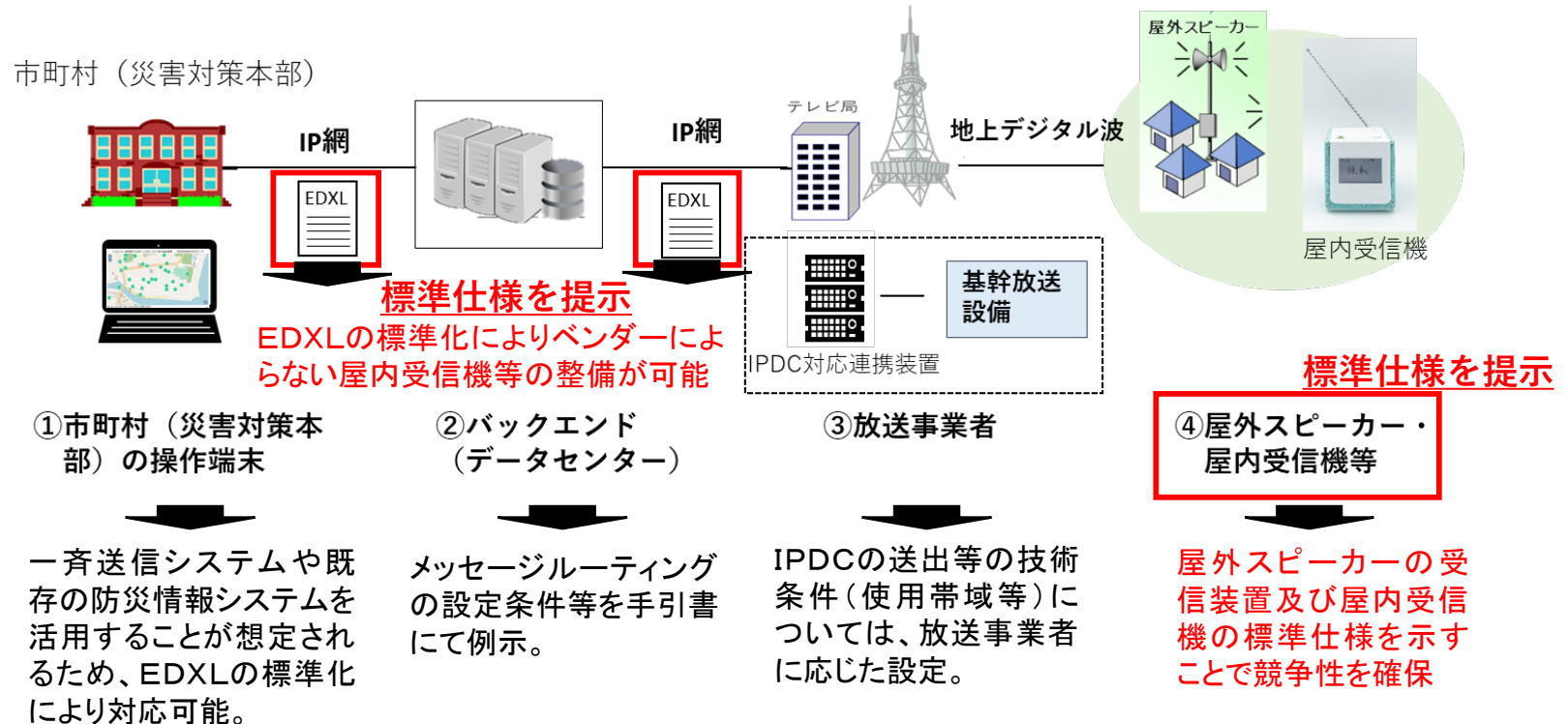

ガイドライン (骨子案)

ガイドライン策定の考え方（たたき台）

- 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段について、各市町村が独自に導入を進めた場合、ベンダー毎に仕様が異なる等、ベンダー間での競争が働かず、導入・運用経費が低廉化できない等の弊害が生じ、普及が進まないおそれ。
- ガイドラインにおいては、当該手段の中核となる技術・機器について標準仕様を提示し、これに準拠した製品を市町村が調達することで競争性を確保することを狙い。
- また、新しい情報伝達手段であることから、市町村の防災担当職員、地上デジタル放送事業者、ベンダー等の関係者に参考となる手引書とする。手引書は、今回の実証における技術条件等も示すことで、より理解を深められるものとする。



はじめに –ガイドラインの位置づけ及び構成–

- 1 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段の特徴
- 2 システムの詳細
 - (1) 入力システム
 - (2) バックエンド
 - (3) 地上デジタル放送局内システム
 - (4) 子局（屋外スピーカー・屋内受信機）
 - (5) その他の追加的な機能
- 3 システムの標準とするべき技術的要件
 - (1) 災害情報記述言語（EDXL）の標準定義フォーマット
 - (2) 屋内受信機の標準仕様
- 4 導入に当たっての留意事項

詳細は別紙

地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段の標準とすべき技術的要件 (たたき台)

1 災害情報記述言語 (EDXL) の標準定義フォーマット

地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段に用いる災害情報記述言語 (EDXL) の標準定義フォーマットは別添のとおりとする。

防災情報の入力システム、バックエンド、屋外スピーカー、屋内受信機等のシステム構成機器は、標準定義に基づく EDXL を利用できるものとする。

2 屋内受信機の標準仕様

屋内受信機の標準的な機能については、平成 30 年 3 月消防庁が示した市町村防災行政無線 (同報系) の戸別受信機の標準モデル機能を踏まえ、次のとおりとする。

1 音声受信：音声放送の受信

(機能の概要)

地上デジタル放送波 (470MHz~710MHz) を受信し、放送波に IPDC で重畳された EDXL データを解析し、格納された音声ファイル (市町村からの放送内容) を本体内蔵のスピーカーにて聞くことができる機能。

2 緊急一括呼出：緊急時に音量を自動で最大に調整

(機能の概要)

緊急一括放送を受信した場合、受信機の音量設定に関係なく、当該受信機の最大音量で放送内容を聞くことができる機能。

3 選択呼出：一括呼出、グループ呼出、個別呼出

(機能の概要)

地区単位やあらかじめ設定したグループ (消防団や高齢者世帯、土砂災害警戒区域内にある世帯等) に対する放送 (グループ呼出) や、特定の屋内受信機だけを鳴動させるような放送 (個別呼出) に対応できる機能。

4 録音再生：放送の録音再生が可能

(機能の概要)

内蔵メモリ等により放送内容を録音かつ再生できる機能。

5 停電時対応：商用電源から内蔵の電池へ自動切替

(機能の概要)

通常は商用電源で運用していて、停電時等に内蔵の電池（乾電池やリチウムイオン電池、ニッケル水素電池等）に自動で切り替わり、停電時等の放送を聞き漏らさないようにする機能。

6 内蔵電池の動作時間：24 時間以上（例：放送 5 分／待受け 55 分の条件）

(機能の概要)

停電時等に内蔵電池での運用に切り替わった際に、内蔵電池において 24 時間以上の運用・動作を可能とする機能。

7 外部アンテナ接続：外付けのアンテナが接続可能

(機能の概要)

屋内受信機を設置する住戸に設置されているテレビコンセント（地上デジタル放送を受信するためのコンセント）に接続するための端子（コネクタ等）を有し、接続すると自動でテレビコンセントからの受信に切り替わる機能。

屋外において、地上デジタル放送波（空中波）を受信するための本体付属のアンテナ（通常はロッドアンテナという伸縮できる金属製のアンテナ）を有すること。

8 文字等を表示できるディスプレイ（新規）

(機能の概要)

ディスプレイを備えることにより、放送波に重畳された EDXL データに格納された伝達文や、電波の受信状況等を表示することができる機能。

(市町村において必要とする場合の追加的な機能)

1 FM 放送を受信するための機能

(機能の概要)

FM 放送（76.0MHz～108.0MHz）を受信し、内蔵するスピーカーにて放送内容を聞くことができる機能。

2 LPWA 通信を行うための機能

(機能の概要)

LPWA 網と通信ができる機能。屋内受信機の受信状況や作動状況の確認等を行うアンサーバック機能に用いるもの。

3 Bluetooth 通信を行うための機能

(機能の概要)

屋内受信機の位置を追跡し、動態把握等を行うための機能に用いるもの。

4 光により受信したこと等を示すための機能

(機能の概要)

LED 等により、屋内受信機が放送を受信したことを光の点灯や点滅で知らせるための機能に用いるもの。

5 外部機器と接続するための機能

(機能の概要)

聴覚に障害のある住民などに屋内受信機を配備する場合に、フラッシュ受信機や振動により気づきを与える機器を接続することができることや、放送内容をデジタルサイネージやテレビなどに表示するために、これらの機器に接続することができることなど、外部機器と接続するための端子を有すること。

地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段に用いる EDXL フォーマット定義書

第1版

更新日	Version	版	主な追加・変更内容

	名称と内容		備考
	はじめに		
	表記ルール	このドキュメントにおける表記上のルール	
	コモンズEDXL要素		
	コモンズEDXLデータモデル		

はじめに

1. はじめに

本文書は地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段に用いるEDXLの定義を記述するものです。

表記ルール

接頭辞 URI = 名前空間 関連する基底型 :								
項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
1	A1							
2		A11	type.A11	1				
3			*				"c11a"	
4			*				"c11b"	
5		B11	A3	?				
6		B12	xs:string	+				
7		*						
8	A2							
9		B21	A1	*				
10		B11	xs:string	1				
11	A3							
12		B12	xs:string	1			code.D1	
13	(element)	B31	A2	1				
14	(end)							

接頭辞	名前空間 (Namespace) を識別するための接頭辞を記述する。
名前空間	名前空間 (Namespace) 名を記述する。
関連する基底型	このドキュメント内に仕様が記述されていない型を基底型として参照している場合、関連する基底型として記述する。
項番	要素の位置を一意に表せるように番号を記述する。
親要素	親要素として、型の名前を記述する。このドキュメント内では一意な名前とする。列挙型の場合、複数の要素から参照される場合のみ記述する。
子要素	親要素に含まれる項目の名前を記述する。同じ親要素内で一意な名前とする。例外的に任意の子要素も許容する場合は、子要素にアスタリスク ("*") だけを記述した行を子要素の最後に置く (例: 項番7)。この場合に許容する名前空間を、「とりうる値」欄に記述することができる。 また、規定型がこの要素のみが使用する列挙型となる場合、とりうる値を続けて記述する。(項番2, 3, 4)

基底型	<p>子要素の基底型を記述する。子要素の基底型としては、XML Schemaで定義されているビルトインデータ型、このドキュメント内で定義される親要素の名前、XML Schema単純型拡張(後述)、または関連する基底型で定義される親要素の名前を記述する(例:項番5、6、9)。親要素の基底型は通常、記述しないが、子要素の基底型は必ず記述する。</p> <p>XMLSchema単純型拡張を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> - pcx_eb:nullablefloat...xs:float型を拡張しており、xs:floatの記述範囲のほかに空文字の記述を許容するもの - pcx_eb:nullableinteger...xs:integer型を拡張しており、xs:integerの記述範囲のほかに空文字の記述を許容するもの
出現回数	<p>親要素の出現回数は記述しない。具体的な出現回数は親要素を参照する子要素中に定義される。</p> <p>子要素の出現回数は以下のように記述する。</p> <p>必ず1回出現 1 0回か1回出現 ? 1回～無限大に出現 + 0回～無限大に出現 * N回～M回出現 N, M</p>
意味	親要素、子要素の意味を簡潔に記述する。
システム利用	子要素がシステムのどのような機能で使用されるかを記述する。
とりうる値	子要素がとりうる値を簡潔に記述する。列挙値となる場合は、具体的な文字列をダブルクォートで挟んで記述する。正規表現を利用する場合は"RE:"を最初につけて記述し、任意の文字列を許容する場合は"*"を記述する。また、コード表による参照の場合、"code."で始まるコード管理表の親要素名を記述する(例:項番3、4、12)。
解説	親要素、子要素を説明する文章を記述する。子要素がアスタリスク("*")だけの行は、例外的に任意の子要素も許容する理由を解説に記述し、他の欄は記述しない。

注1) 親要素、子要素は排他的に用いる。

注2) 親要素として型を記述する場合には要素名として”type.”を最初につける。

注3) 別の名前空間に属する要素を作成する際は、要素名は呼び出される側の名前空間に属するようにする。そのために、次の2点の記述法を利用する。

・子要素欄に別の名前空間接頭辞が付いていた場合、基底型に記載の要素名に対して参照することとする。この場合の子要素と基底型は同じ接頭辞であるものとする。

・親要素名を”(element)”とした場合、子要素名を基底型に記載の型として、グローバルに宣言する(例:項番13)。

注4) 表の最終行であることを明示するために、親要素名として”(end)”を置く。

注5) 例に示した親要素、子要素の名称やとりうる値には特に意味がない。

要素の背景色について

必須要素(例:項番5)	コモンズノードシステム上、必須の要素。メッセージ収集時点でチェックが行われ、存在していない場合、および形式が正しくない場合はエラーとなる(エラーチェックの起動の有無は、システムのオプションにより制御可能)。
必須要素(例:項番13) (親要素は省略可)	親要素は省略可能であるが、親要素を指定した場合は必須となる要素。
条件付必須要素	特定の要素の子要素として出現する場合や、別の要素が特定の値を保持する場合のみ必須となる要素。必須となる条件については各要素の「意味」「解説」列で記述する。
推奨要素 (例:項番10)	コモンズノードシステムとして設定が推奨される要素。メッセージ情報の有用性の観点から、できる限り設定されていることが望ましい(存在しなくてもエラーとはならない)。
未使用要素	EDXLスキーマで定義されているが、コモンズノードシステムとしては使用しない要素。要素そのものを省略する。
システム設定要素	コモンズノードシステムが設定する要素。 情報発信システムは、この要素を設定してはいけない。 情報受信システムは、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することや存在しないことによってエラーが出ないように注意する必要がある。

コモンズEDXL要素

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
commons URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ 関連する基底型 : edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/ commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0								
1	(element)	EDXLDistribution	edxIde:EDXLDistributionType	1	ドキュメントルート			
2	edxIde:EDXLDistributionType							
3		distributionID	xs:string	1	メッセージを一意に識別する文字列(ID)。元文書のIDではなく、EDXLエンベロープを付与した時点で一意となるようにUUID(Universally Unique Identifier: RFC4122)を割り振ることを推奨する。 この文字列は、コモンズノードシステムにおいて、メッセージを一意に表す文字として使用される。コモンズノードシステムは、この値がすでにデータベースに登録されているかどうかを元に、重複受信を排除する機能を実現する。	・重複排除、送達保証		本情報の識別情報を示し、本要素が同じものについては、同一の情報であることを示す。 例) 7e573043-fc3c-4a6b-bdb8-a9608233b0af 詳細については、解説資料「メッセージと文書」を参照のこと。
4		senderID	xs:string	1	発信システムID。情報発信システムを一意に表す文字列。コモンズに直接発信するシステムのFQDN(Fully Qualified Domain Name)形式の文字列を設定する。ただし、DNS登録されている必要はない。 例えばAシステムからBシステムに入って、Bシステムからコモンズに配信する事例では、Bシステムの名称を表わすFQDNを設定する。 コモンズからSOAP配信される情報のsenderIDは、発信元のsenderIDが指定される。 なお、コモンズエディタから発信する場合のsenderIDは、「editor.ドメイン名」としているため連携システムから発信する際のsenderIDでは、「editor」という表現は非推奨としている。	・メッセージルーティング		組織のドメインを末尾に含むFQDN形式の文字列を設定することで他システムとの重複を回避できる。 例: 組織のドメインがexample.lg.jpの場合 "sender.commonssystem.example.lg.jp" TVCMLでSenderIdに該当するのは、SentFrom/Party/@FormalName。 用途: 特定のシステムからコモンズに送出したメッセージをフィルタリングする場合などに使用する。 発信システムサーバが二重化されている場合、各サーバで同じSenderIdを使用する。たとえば、バックアップ側のサーバから発信する場合のsenderIDは、平時の駆動系側のサーバから発信する場合のsenderIDと同じ値となる。
5		dateTimeSent	xs:dateTime	1	発信日時。情報発信システムがこの情報を送信した日時を表す。 この情報が複数のシステムを経由して送信される場合、コモンズノードシステムに対して最後に送信処理を行ったシステムの処理時刻を設定する。			タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
6		distributionStatus	edxIde:statusValues	1	運用種別。 元文書の運用種別を表す文字列ベースの列挙値。			標準EDXLより列挙値を抜粋。
7		distributionType	edxIde:typeValues	1	更新種別。 情報の更新内容を表す文字列ベースの列挙値。			詳細については、解説資料「文書の新規作成・更新とドキュメントIDの関係」を参照のこと。
8		combinedConfidentiality	xs:string	1	メッセージの機密性(confidentiality)を表す文字列。デフォルト値で固定とする。		"UNCLASSIFIED AND NOT SENSITIVE"	現バージョンでは"UNCLASSIFIED AND NOT SENSITIVE"で固定。
9		language	xs:string	?	メッセージの言語を表す文字列。現バージョンではja-JPで固定。		"ja-JP"	現バージョンでは"ja-JP"で固定
10		senderRole	edxIde:valueListType	*	3バイトのリターンIDを格納する。		-	<senderRole> <valueListUrn>acpn:returnID<valueListUrn/> <value>*****</value> </senderRole>

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型: edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
11		recipientRole	edxIde:valueListType	*	Recipient(EDXLを受信・解釈する機器)に関する情報を表す。 拡張EDXLでは、本要素を受信装置記述子として使用することで、受信装置の属性とその再生方法に関するヒントを記述可能とする。	・メッセージルーティング ・再生、表示、作動	-	valueListUrnにacpn:recipientDescriptorを指定する。value要素を複数指定することができ、ここにJSON形式で記述する。記述例を以下に示す。項目詳細については、補足*1を参照のこと。 <recipientRole> <!-- 受信装置記述子 --> <valueListUrn>acpn:recipientDescriptor<valueListUrn/> <value><![CDATA[[deviceClass: "publicSignage" // この記述を適用する受信装置は公衆サイネージ ,consumerDescriptorId: "group1" // この記述を適用する情報消費者グループのIDは group1 , reproductionClass: ["text", "audio"] // 受信装置に期待される体現化はテキストと音声]]></value> <value><![CDATA[[deviceClass: "publicSignage" // この記述を適用する受信装置は公衆サイネージ ,consumerDescriptorId: "group2" // この記述を適用する情報消費者グループのIDは group2 , reproductionClass: ["text", "stillImage"] // 受信装置に期待される体現化はテキストと静止画 , reproductionTime: 30 // 受信装置に期待される再生時間は30秒 , reproductionCount: 5 // 受信装置に期待される再生回数は5回]]></value> </recipientRole>
12		keyword	edxIde:valueListType	*	このメッセージに関連した話題(topic)を表すリスト形。使用しない。		-	使用しない
13		distributionReference	xs:string	*	別メッセージへの参照を表す文字列。 本来は、更新メッセージ受信時に更新対象メッセージのIDを設定するが、実装上設定しない。		-	使用しない
14		explicitAddress	edxIde:valueSchemeType	*	明確な受信者を表す。現バージョンでは使用しない。		-	使用しない
15		targetArea	edxIde:targetAreaType	*	対象地域。 情報発信者が当該の情報を伝えたい住民が居住している地域を表す。 地域の名称は、都道府県、市区町村、政令都市の区など、全国地方公共団体コード(JISX0401/0402)を保有する団体等の名称を設定する EDXLスキーマ上は、省略可能となっているが、子要素 jisX0402がメッセージルーティングで使用されるため省略してはならない。 元文書が自治体によって作成されている場合には、targetArea/areaName要素のひとつには作成した自治体名を記述し、areaNameKana要素の値には作成した自治体名のかな表記を記述する。		-	子要素 jisX0402 について: jisX0402要素は必須項目であり、情報の対象地域の「市区町村及び一部事務組合等コード」番号を記述する。 この要素を複数指定する場合、当該の情報を作成した自治体(対象地域)の出現順は最後にする。

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型 : edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
16		contentObject	edxIde:contentObjectType	*	情報本体および付加情報を含む複合型。 commons:contentObjectとedxIde:contentObjectをEDXLDistribution配下に混在して配置する。			contentObject要素は下記規則に沿って設定されなければならない * commons:contentObjectはpcxmlあるいは気象庁XMLのどちらかを保持し、必ず1個指定しなければならない * edxIde:contentObjectは複数指定でき、consumerRoleの受信媒体指定かcontentKeywordの添付ファイルパスのいずれかを指定する * 拡張されたEDXLからedxIde:contentObjectとedxIde:recipientRoleの要素を削除すると、従来の commonsの仕様に従ったEDXLとならなければならない
17	edxIde:statusValues		xs:NMTOKEN		運用種別を表す文字列ベースの列挙型。			この型は、PCXML要素でも使用される。
18			*				"Actual"	本番。このメッセージが、実運用の業務内で作成・発表されたことを表す。
19			*				"Exercise"	訓練。このメッセージが、実運用中の訓練業務で作成・発表されたことを表す。
20			*				"System"	システム。情報発信者が送信することはない。このメッセージが、実運用中またはテスト中に送信されたシステム情報であることを表す。
21			*				"Test"	テスト。このメッセージが、運用開始前のシステム構築時のベンダ間接続テストで作成・発表されたことを表す。
22	edxIde:typeValues		xs:NMTOKEN		更新種別を表す文字列ベースの列挙型。			この型は、PCXML要素でも使用される。
23			*				"Report"	新規。元文書が新しく作成された情報であることを表す。
24			*				"Update"	更新。元文書が改版されたことを表す。なお、更新時の情報には、差分のみではなく、改版後の文書全体が含まれていなければならない。
25			*				"Cancel"	取消。 既に作成・発表された元文書が削除されたことを表す。 "Cancel"は発信したこと自体が誤りである誤報などの場合に用いる。 誤報等により元文書の一部が訂正された場合には、訂正後の文書全体を含む情報をdistributionType=Updateで送信することが推奨される。 また、通常の更新ではなく訂正であることを注意喚起するため標題にその旨を明記することが推奨される。 詳細については、解説資料「発信情報の取消」を参照のこと。
26			*				"Error"	エラー。 エラー発生についての情報であることを表す。システムが送信し情報発信者が送信することはない。
27	edxIde:targetAreaType				地域情報を含む複合型。			
28		circle	xs:string		対象となるエリアの地理情報(円)を表す文字列。書式は"緯度(-90~90),経度(-180~180),半径(km)"となる。 * 緯度・経度には世界測地系に基づく値を10進法で設定する。			例)34.75695,134.841178,0

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型: edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
29		polygon	xs:string	*	対象となるエリアの地理情報(多角形)を表す文字列。書式は”緯度(-90~90),経度(-180~180)”を区切り文字スペース’ ’で連結したものとなる。 * 緯度・経度には世界測地系に基づく値を10進法で設定する。			
30		country	xs:string	*	ISO 3166-1定義国名コードを表す文字列。現バージョンでは使用しない。		-	使用しない
31		subdivision	xs:string	*	ISO 3166-2地理(行政区画・属領)コードを表す文字列。現バージョンでは使用しない。		-	使用しない
32		locCodeUN	xs:string	*	UN/LOCODEを表す文字列。現バージョンでは使用しない。		-	使用しない
33	edxIde:contentObjectType				情報本体および付加情報を含む複合型要素。			
34		contentDescription	xs:string	?	見出し文。 この情報の内容を簡潔に表した文章。 ? incidentDescriptionが情報の原因となった事象についての記述を指すのに対し、contentDescriptionは情報そのものに対する記述を指す。			例)2009年9月1日大雨被害に伴う避難勧告(試験) 詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。
35		contentKeyword	edxIde:valueListType	*	元文書についてのキーワードを表すリスト形。 拡張EDXLでは、本要素を添付ファイルコンテンツのパスとして使用することで、他のコンテンツから参照される際のパスを指定する。 添付のもののメディアを識別するメディアIDを格納する。	・マルチメディア情報添付	-	valueListUrn(acpn:attachmentPathを指定する。 value要素は1個しか指定できず、またEDXL内で一意でなければならない。この属性が指定されているコンテンツは添付ファイルであることを示し、単独では利用できない。以下に記述例を示す。 <contentObject> <contentKeyword> <valueListUrn>acpn:attachmentPath<valueListUrn/> <value>imgs/map.jpg</value> </contentKeyword> <contentKeyword> <valueListUrn>acpn:monoMediaID<valueListUrn/> <value>*****</value> </contentKeyword> </contentObject>
36		incidentID	xs:string	?	災害のIDを表す文字列。 ? 一つの災害に対する全市町村/インフラ関係者間で有効なIDを採番する機構が存在しないため、使用しない。		-	使用しない
37		incidentDescription	xs:string	?	この情報の原因となった事象についての記述を表す文字列。 ? contentDescriptionは情報そのものに対する記述を指すのに対し、incidentDescriptionが情報の原因となった事象についての記述を指す。			例)2009年9月1日大雨被害(試験) 詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。
38		originatorRole	edxIde:valueListType	*	情報の作成者のロールを表す文字列。使用しない。		-	使用しない

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型: edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
39		consumerRole	edxIde:valueListType	*	Consumer(動作を「期待」される人・モノ(公衆))に関する記述を表す。 拡張EDXLでは、本要素を情報消費者記述子として使用することで、情報消費者のグループを記述可能とする。	再生、表示、作動	-	valueListUrnにacpn:consumerDescriptorを指定する。value要素を複数指定することができ、ここにJSON形式で記述する。また、IDを付与することで、受信装置記述子から参照することも可能である。なお、この属性は再生の主体であるコンテンツにのみ付与可能であり、添付ファイルには付与できない。記述例を以下に示す。項目詳細については、補足*2を参照のこと。 <pre><consumerRole > <!-- 情報消費者記述子 --> <valueListUrn>acpn:consumerDescriptor<valueListUrn /> <value><![CDATA[id: "group1" // この情報消費者グループのIDは "group1" ,groupIds: ["916"] // 対象グループIDは916:尾上処理工場(拡声子局) ,areaCodes: ["282100501"] // 対象エリアは0501:尾上町 養田]]]></value> <value><![CDATA[id: "group2" // この情報消費者グループのIDは "group2" ,areaCode: ["282100501", "282100601", "282100602"] // 対象エリアは0501など尾上町 一部のエリア]]]></value> </consumerRole ></pre> なお、本要素は commonsXML仕様でも運用されているが、valueListUrnの値が異なるため、競合することはない。
40		confidentiality	xs:string	?	このメッセージの守秘性を表す文字列。使用しない。		-	使用しない
41		other	xs:other	*	任意の要素。使用しない。		-	使用しない
42		nonXMLContent	edxIde:nonXMLContentType	?	非XML形式の元文書を含む複合型。この要素とxmlContentのどちらかが必須となる。	マルチメディア情報添付	-	
43		xmlContent	edxIde:xmlContentType	?	XML形式の情報を含む複合型。この要素とnonXMLContentのどちらかが必須となる。		-	
44	valueListType							
45		valueListUrn	xs:string	1	キー		-	別紙「緊急速報/エリアメール配信機能開発ガイド」参照。
46		value	xs:string	+	値		-	別紙「緊急速報/エリアメール配信機能開発ガイド」参照。
47	edxIde:nonXMLContentType				非XML形式の元文書を含む複合型。 commonsノードシステムでは使用しない。			

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型 : edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
48		mimeType	xs:string	1	MIMEタイプを表す文字列。		-	
49		size	xs:integer	?	ファイルサイズを表す数値。		-	
50		digest	xs:string	?	ダイジェストを表す文字列。		-	
51		uri	xs:anyURI	?	URI。		-	
52		contentData	xs:anyBase64Binary	?	Base64エンコード形式。uriの代わりまたはuriとともに使用される。		-	
53	edxIde:xmlContentType				XML形式の情報本体を含む複合型。		-	
54		keyXMLContent	edxIde:anyXMLType	*	embeddedXMLContent内のフラグメントを表す。フラグメント要素を包含する。使用しない。		-	使用しない。
55		embeddedXMLContent	edxIde:anyXMLType	*	情報そのものを表す。子要素として、公共情報コモンズXML (PCXML)フォーマットまたは気象庁防災情報XMLフォーマットまたは操作要求XMLが出現する。		-	
56	CommonsTargetAreaType				edxIde:targetAreaType を継承するコモンズ用拡張。		-	
57		areaName	xs:string	1	地域の名称を表す。同じ親を持つjisX0402要素が存在する場合、コードに該当する名称を設定する。 この要素が、/EDXLDistribution/targetArea下に出現する場合、情報発信者が当該の情報を伝えたい住民が居住している地域の名称を表す。地域名称は、都道府県、市区町村、政令都市の区など、全国地方公共団体コード (JISX0401/0402)を保有する団体等の名称を設定する。		-	例)加古川市
58		areaNameKana	xs:string	?	地域のかな表記を表す。同じ親を持つjisX0402要素が設定されている場合、コードに該当する名称のかな表記の値を設定する。 この要素が、/EDXLDistribution/targetArea下に出現する場合、情報発信者が当該の情報を伝えたい住民が居住している地域の名称を表す。地域名称は、都道府県、市区町村、政令都市の区など、全国地方公共団体コード (JISX0401/0402)を保有する団体等の名称のかな表記を設定する。		-	例)かがわし
59		jisX0402	xs:string	?	この情報が対象とする地域の「市区町村及び一部事務組合等コード」を表す。値はチェックディジットつき6桁の値となる。 EDXLDistribution/targetArea/の子要素としての jisX0402 は、必須要素である。その他の位置に出現する場合はこの限りではない。	・メッセージルーティング	-	例)282103
60		ooAzaTyouTyouMokuCode	xs:string	?	このメッセージが対象とする地域の「大字町丁目コード」を表す。このコードは国土交通省国土計画局が提供する、位置参照情報ダウンロードサービスにおいて使用されている値とする。		-	
61	CommonsContentObjectType				edxI:contentObjectType を継承するコモンズ用拡張要素。		-	
62		publishingOfficeName	xs:string	?	本情報を業務的に発表した部署の名称を示す。 スキーマ上では互換性維持のため省略可能とするが、実質上必須要素である。		-	例)災害対策局災害対策課

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型: edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
63		publishingOrganizationName	xs:string	?	本情報を業務的に発表した組織の名称を示す。 スキーマ上では互換性維持のため省略可能とするが、実質上必須要素である。			例)兵庫県 本要素は、Version 1.3より、追加された。Version 1.3以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、Version 1.2.1 以前形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
64		publishingOfficeID	xs:string	?	本情報を業務的に発表した組織のコードを表す。発表組織が自治体の場合、全国地方公共団体コード(JISX0401/0402)をチェックディジット付きの6桁で指定する。 発表組織が自治体以外の場合には省略する。	・メッセージルーティング		例)280003
65		publishingOfficeDomainName	xs:string	?	本情報を業務的に発表した組織を一意に表す文字列である。自治体の場合は省略する。PCXML内のPublishingOffice要素以下のOrganizationDomainNameが設定されている場合は、同じ値を設定する。PCXML内のOfficeDomainNameではないので注意が必要である。	・メッセージルーティング		
66		previousDocumentRevision	xs:int	?	更新前のメッセージの版番号を表す。この情報が新規(distributionType=Report)である場合には、previousDocumentRevisionは値0を指定するか、要素ごと省略する。 更新前のメッセージの版番号が不明である場合には、要素ごと省略する。			値は、連続している必要はない(1→2→4→5となつてよい)。 さらに、previousDocumentRevisionの値を持つ情報が commons に発信されなくてもよい(元文書システムが1→2→4→5と更新し、1と5のみを commons に発信する場合に、5の場合の previousDocumentRevisionの値は4となる)。 上記より、本項目を使用して伝達者側システムを設計することは推奨されない。

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型 : edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
67		documentRevision	xs:int	?	このメッセージの版番号を表す。 この情報が新規(distributionType=Report)である場合には、documentRevisionの値は1となる。 更新された元文書の順序を識別するのに利用されるため、必須要素とする。			本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 詳細については、解説資料「文書の管理・運用」を参照のこと。 documentRevisionの値は、更新を行うごとに、より大きな値となっていなければならない。ただし、更新ごとの値が連続している必要はない (1→2→4→5となってよい) (元文書システムが1→2→4→5と更新し、1と5のみを共通に発信する場合に、元文書の5版のdocumentRevisionの値には(2ではなく)5を設定する)。
68		documentID	xs:string	?	ドキュメントID。文字数の上限は128文字である。 文書を一意に識別する文字列。文書に共通のdocumentIDと、documentRevision が符番されることで、改版を表現する。 例えば、「避難勧告発令 → 避難指示発令 → 避難指示解除」の順で発令・解除が発表されるとき、コモンズノードシステムに対して3件の情報の送信が行われる。ここで、distributionIDは3件の情報すべてに異なる値が符番されるのに対し、documentIDは3つの情報すべてに同じ値が符番される。これによって、3件の情報の元文書が同一であり、元文書が更新されていることを認識できる documentID は、コモンズのシステム内でユニークなIDとなる必要があるため、UUID (Universally Unique Identifier: RFC4122) の使用を推奨する。また、元文書が発信システム上一意となる ID を持っており、かつ上記改版の考え方に則している場合には、これが発信システムのFQDNを付けたものを用いてもよい。poxml の documentID と同じものである。			詳細については、解説資料「メッセージと文書」を参照のこと。
69		category	categoryType	1	このメッセージの情報種別を表す。	・メッセージルーティング		
70		urgency	xs:string	?	このメッセージの緊急度を表す文字列ベースの列挙値。以下のいずれかの値となる。	・メッセージルーティング		詳細については、解説資料「アラート要素のとりうる値」を参照のこと。 この要素は、ノードシステムによって付与される。情報発信システム側は、この要素を設定してはいけない。 情報受信システム側は、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することによってエラーが出ないように注意する必要がある。
71			*				"Immediate"	直ちに
72			*				"Expected"	まもなく(1時間以内)

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型: edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
73			*				"Future"	近い将来
74			*				"Past"	過去
75			*				"Unknown"	不明/適用外
76		severity	xs:string	?	このメッセージの重大性を表す文字列ベースの列挙値。	・メッセージルーティング		詳細については、解説資料「アラート要素のとりうる値」を参照のこと。 この要素は、ノードシステムによって付与される。情報発信システム側は、この要素を設定してはいけない。情報受信システム側は、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することによってエラーが出ないように注意する必要がある。
77			*				"Extreme"	著しく高い
78			*				"Severe"	高い
79			*				"Moderate"	中程度
80			*				"Minor"	低い
81			*				"None"	重大性なし
82			*				"Unknown"	不明/適用外
83		certainty	xs:string	?	このメッセージの確実性を表す文字列ベースの列挙値。			詳細については、解説資料「アラート要素のとりうる値」を参照のこと。 この要素は、ノードシステムによって付与される。情報発信システム側は、この要素を設定してはいけない。情報受信システム側は、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することによってエラーが出ないように注意する必要がある。
84			*				"Observed"	発生中・進行中
85			*				"Likely"	おそらく起こる(p>50%)
86			*				"Possible"	起こるかもしれない(p<=50%)
87			*				"Unlikely"	起こりそうにない(p<0%)
88			*				"Unknown"	不明/適用外
89		deliveryInformation	deliveryInformationType	?	配信情報を表す複合型要素。 この要素は、コモンズノードシステム側で付与される。情報発信システム側では設定してはいけない。			
90		received	receivedType	*	配信処理済みノード情報を表す複合型要素。 この要素は、コモンズノードシステム側で付与される。情報発信システム側では設定してはいけない。			
91	categoryType		xs:string		情報種別を表す列挙型。			この型は、PCXML要素でも使用される。
92			*				"AntidisasterHeadquarter"	災害対策本部設置状況
93			*				"EvacuationOrder"	避難勧告・指示情報
94			*				"Shelter"	避難所情報
95			*				"TemporaryStayFacilities"	一時滞在施設情報
96			*				"DamageInformation"	被害情報
97			*				"GeneralInformation"	お知らせ
98			*				"Event"	イベント情報
99			*				"CivilProtection"	国民保護情報
100			*				"UrgentMail"	緊急速報メール (別紙「緊急速報/エリアメール配信機能開発ガイド」参照。)

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型 : edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
101			*				"SedimentDisastersWarning"	土砂災害警戒情報 (発信システム側はこの情報種別を発信してはいけない。受信システム側は "SedimentDisastersWarningFromJMA"(気象庁XML形式の土砂災害警戒情報)を受信すること。)
102			*				"WaterLevel"	河川水位情報
103			*				"RainFall"	雨量情報
104			*				"TideLevel"	潮位情報
105			*				"FamiliariseRiver"	水位周知河川
106			*				"WeatherWarningAndAdvisory"	気象警報・注意報
107			*				"SedimentDisastersWarningFromJMA"	土砂災害警戒情報
108			*				"FloodForecastingFromJMA"	指定河川洪水予報
109			*				"TsunamiForecast"	津波警報・注意報・予報
110			*				"LocalizedHeavyRainFall"	記録的短時間大雨情報
111			*				"TornadoWarning"	竜巻注意情報
112			*				"EscalationMessage"	配信結果情報
113			*				"DocumentRevocation"	文書無効化情報
114			*				"SeismicIntensityInformation"	震度速報
115			*				"EarthquakeInformation"	震源に関する情報
116			*				"EarthquakeAndSeismicIntensityInformation"	震源・震度に関する情報
117			*				"InformationOnSeismicActivity"	地震の活動状況等に関する情報
118			*				"InformationOnTheNumberOfEarthquakes"	地震回数に関する情報
119			*				"InformationOnTheRevisionOfSourceParametersForRemahabiEarthquakes"	顕著な地震の震源要素更新のお知らせ
120			*				"TsunamiInformation"	津波情報
121			*				"TsunamiObservationsAtOffshoreGauges"	沖合の津波観測に関する情報
122			*				"WeatherEmergencyWarningsAndWarningsAndAdvisories"	気象特別警報・警報・注意報
123			*				"VolcanicForecastsAndWarnings"	噴火警報・予報
124			*				"PowerFailure"	停電発生状況
125			*				"VolcanicInformation"	噴火速報
126			*				"WeatherWarningAndAdvisoryH27"	気象警報・注意報(H27)
127	commons_dr:type:DocumentRevocation				文書無効化情報			本要素はXML Version1.4より追加された。 本要素は、誤配信文書の公開終了を情報伝達者へ要求する目的で使用され、EDXLの embeddedXMLContent要素以下に本要素が出現する。 サービス提供者以外は、本要素を発信することはできない。
128		dateTimeRevoked	xs:dateTime	1	無効日時	・メッセージルーティング		文書を無効化した日時
129		commons:documentID	xs:string	1	無効ドキュメントID			
130		description	xs:string	1	説明			無効理由などを記述する。
131	複合型要素・システム内部情報							
132	deliveryInformationType				配信プロセスを表す複合型要素。全ての要素値はノードシステム内で設定され、情報発信者側での設定はできない。			この要素は、ノードシステムによって付与される。 情報発信システム側は、この要素を設定してはいけない。 情報受信システム側は、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することによってエラーが出ないように注意する必要がある。
133		messageURI	xs:string	1	このメッセージのURIを表す。			
134		description	xs:string	?	このメッセージの概要を表す文字列。			
135		maximumDeliveryTimes	xs:int	1	このメッセージの最大配信試行回数を表す数値。			
136		deliveryTimes	xs:int	1	このメッセージの現在までの配信試行回数を表す数値。			
137		doErrorEscalation	xs:boolean	1	このメッセージの配信失敗時に、エラーエスカレーション処理を行なうかどうかを表すフラグ。			

commons

URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/

関連する基底型 : edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、 comet-edxl: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/、

commons_dr:http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/ acpn_or:http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
138		firstDeliveryDate	xs:dateTime	?	このメッセージが初めて配信された日時を表す。			
139		lastDeliveryDate	xs:dateTime	?	このメッセージが最後に配信された日時を表す。			
140		deliveryStatus	xs:string	?	このメッセージの配信ステータスを表す文字列ベースの列挙値。			
141			*				"SUCCESSFUL"	全ての配信タスクは正常に完了している。
142			*				"ACTIVE"	1つ以上の配信タスクが処理中である。
143			*				"FAILED"	1つ以上の配信タスクに失敗した。
144		task	taskType	*	配信タスク情報を表す複合型要素。			
145	taskType				配信タスクを表す複合型要素。全ての要素値はノードシステム内で設定され、情報発信者側での設定はできない。			この要素は、ノードシステムによって付与される。情報発信システム側は、この要素を設定してはいけない。情報受信システム側は、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することによってエラーが出ないように注意する必要がある。
146		serviceName	xs:string	1	サービス名			
147		topicID	xs:string	1	トピックID			
148		taskStatus	commons:taskStatusType	?	この配信タスクのステータスを表す文字列ベースの列挙値。			
149			*				"EXECUTED"	この配信タスクは正常に終了している。
150			*				"WAITING"	この配信タスクは実行中である。
151			*				"DENIED"	この配信タスクは拒否された。
152			*				"FAILED"	この配信タスクは失敗している。
153		caption	xs:string	?	トピック名			
154		type	xs:string	?	トピック種別			
155		applicant	xs:string	?	利用団体ID			
156		applicantRole	xs:string	?	利用団体種別			
157		receivedNodeEndpointID	xs:string	?	収集・配信ポイントID			
158	commons-edxl:task				Comet-EDXL配信タスクを表す複合型要素			この要素は、ノードシステムによって付与される。情報発信システム側は、この要素を設定してはいけない。情報受信システム側は、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することによってエラーが出ないように注意する必要がある。
159		commons-edxl:CometEndpoint.PushTopicName	xs:string	1	トピック名を表す単純型要素。			
160		commons-edxl:CometEndpoint.PushMessageURI	xs:string	1	配信するメッセージのURIを表す単純型要素。			
161		commons-edxl:CometEndpoint.MessageSentTime	xs:dateTime	1	このメッセージが発信された時刻を表す単純型要素。			
162	received				メッセージ受信有無を確認するための情報。			この要素は、ノードシステムによって付与される。情報発信システム側は、この要素を設定してはいけない。情報受信システム側は、この要素を解析する必要はないが、この要素が存在することによってエラーが出ないように注意する必要がある。
163		nodeId	xs:string	1	受信済みノードのIDを表す。			
164		receivedTime	xs:dateTime	1	このノードがメッセージを受信した日時を表す。			
165		endpointID	xs:string	1	受信済み収集・配信ポイントID			
166	(end)							

(参考)

167	valueSchemeType							
-----	-----------------	--	--	--	--	--	--	--

commonsURI = <http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/>関連する基底型 : edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)、 comet-edxl: <http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/comet-edxl/>、commons_dr:<http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl/ext/documentRevocation/> acpn_or:<http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0>

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
168		explicitAddressScheme	xs:string	1	スキーム名		-	使用しない
169		explicitAddressValue	xs:string	?	値		-	使用しない
170	(end)							

補足

*1 受信装置記述子のオブジェクトのプロパティ一覧

項番	プロパティ名 (背景黄色は必須項目、 緑色は推奨項目)	型	出現回数	意味	とりうる値	解説
A-1	deviceClass	string	1	受信装置の種別		受信装置は自身が指定されているものの中で最初にマッチング可能(情報消費者グループのマッチング:後述)な受信装置記述子を選択する。
A-2		*			"radio"	ラジオ
A-3		*			"personalTerminal"	スマートフォン、タブレット、セットトップボックス
A-4		*			"publicSignage"	サイネージ
A-5		*			"IoTConcent"	"IOT機器接続口"
A-6		*			"adhockNetworkGateway"	"DTN"
A-7		*			"SNS"	SNS
A-8		*			"mailMagazine"	安心安全メール
A-9		*			"webPublishing"	公式HP
A-10		*			"emergencyMail"	3キャリア緊急速報メール
A-11		*			"telephone"	自動配信電話/自動応答電話
		*			"loudSpeaker"	屋外拡声器
		*			"motorSiren"	モーターサイレン
		*			"OTA"	OTA
A-12	consumerDescriptorId	string	?	情報消費者グループのID		この値で指定される(=情報消費者記述子のIDが一致する)情報消費者グループが同一メッセージ内の情報消費者記述子で定義されていないといけない。 受信装置は対応する情報消費者グループに対する配信が可能である場合のみ、当該受信装置記述子を選択できる。
A-13	wakeUp	boolean	?	速達であることを示すフラグ		true の場合は速達であることを意味する。値が指定されていない場合は false となる。 受信装置は出来る限り早く情報消費者に情報を伝えるために自動起動やプッシュ通知を行う。
A-14	action	string	?	望まれる動作を表すARIBの動作コード		値は別紙「ARIB動作内容コード表」に記載されたコード出なければならない
A-15	validDateTime	string	?	コンテンツの有効期限		日時フォーマットはxs:dateTime型で指定しなければならない 例: 2017-10-22T19:45:00+09:00
A-16	reproductionClass	array<string>	?	再生内容の種別		テキスト("text")、音声("audio")、静止画("stillImage")、動画("video")、点検放送("alive")、バイナリ("binary")のうちいずれかを、複数個配列で指定できる 例: ["text", "stillImage"]
A-17		*			"text"	テキスト
A-18		*			"audio"	音声
A-19		*			"stillImage"	静止画
A-20		*			"video"	動画
A-21		*			"alive"	点検放送
A-22		*			"binary"	バイナリ
A-23	reproductionTime	number	?	コンテンツの再生秒数		
A-24	reproductionCount	number	?	コンテンツの再生回数		999は永遠を意味する
A-25	storeOperation	string	?	コンテンツの蓄積処理		storeOnly:再生せず蓄積 playandStore:再生し蓄積 記述がない場合は再生のみ

commons

A-26		report		boolean		? レポート要求		true の場合はrecipientととしてアンサーバックを返す。値が指定されていない場合は false となる。
A-27		reproductionSpeed		number		? コンテンツの再生スピード		相対値 (1を基準値とし0.1から10) 例: 1.2
A-28		reproductionVolume		number		? コンテンツの再生音量		相対値 (0から100の整数) 例: 100
A-29		reproductionDateTime		string		? コンテンツの再生時刻		日時フォーマットはxs:dateTime型で指定しなければならない 例: 2017-10-22T19:45:00+09:00
A-30		reproductionMedia		array<string>		? 再生コンテンツの指定		0009F2(メディアID)。 モーターサイレンのプリセット2音色の指定方法は「1」「2」。その他「0」で強制停止。 拡声器のプリセット12種の音源の指定は「1」から「12」 OTAの場合、分割して放送されたバイナリファイルを配列で指定。
A-31		reproductionRepeat		string		? 再生コンテンツの繰り返し指定		cronの記述準拠。 例: 0 17 * * 1 (毎週月曜の 17:00に実行)
A-30		reproductionType		string		? OTAでアップデートする機器の型番		例: VRK10F1
A-31		reproductionVersion		string		? OTAでアップデートする機器のバージョン		例: 1.1.1
A-32	(end)							

*2 情報消費者記述子のオブジェクトのプロパティ一覧

項番	プロパティ名 (背景黄色は必須項目、 緑色は推奨項目)	型	出現 回数	意味	とりうる値	解説
B-1	id	string	1	情報消費者のグループのID		受信装置記述子からこのIDを指定して参照することができる。
B-2	groupIds	array<string>	?	情報消費者の種別を表すARIBのグループIDの配列		値は別紙「加古川市グループコードエリアID表」に記載されたコードでなければならない 例: ["916"]
B-3	areaCodes	array<string>	?	情報消費者の居場所を表すARIBのエリアコードの配列		値は別紙「加古川市グループコードエリアID表」に記載されたコードでなければならない 例: ["0501", "0601", "0602", "0603"]
B-4	consumerClass	string	?	情報消費者の種別		情報消費者がヒトではなくモノである場合にそのモノの種別を指定する。
B-5		*			"automaticShelterManager"	自動避難所管理装置
B-6		*			"automaticMailSender"	メール代行送信装置
B-7	Receptor	string	?	操作対象種別		情報消費者の内部に操作の対象が複数ある場合に対象の種別を指定
B-8 (end)						

操作要求XML 要素

acpn_or
 URI = http://v-low-xml.futurelink.co.jp/ACPN/operationRequest/v1.0
 関連する基底型 :

項番	親要素	子要素	基底型	出現回数	意味	システム利用	とりうる値	解説
1 (element)		process	type.process	1	情報消費者への建物の解錠・施錠・状態報告の要求を表す			
2	type.process							
3		task	type.task	+	個々の要求を表す。複数の task要素を指定することで複数の連続した操作を記述できる。			
4	type.process							
5		operation	xs:string	?	操作要求を表す。 operation要素とreport要素のどちらか一方を記述しなければならない。			下記の表の組み合わせで操作を要求できる。 ■情報消費者記述子のconsumerClass属性がautomaticShelterManager(自動避難所管理装置)の場合 (object) : (operation) => (要求の意味) buildingLock : lock => 建物の入り口を施錠せよ buildingLock : unlock => 建物の入り口を解錠せよ light : on => 照明を点灯せよ light : off => 照明を消灯せよ ■情報消費者記述子のconsumerClass属性がautomaticMailSender(メーラー)の場合 (object) : (operation) => (要求の意味) 省略 : postNotification => 避難者の状況をメールで支援者に通知せよ
6		report		?	状態報告要求を表す。 operation要素とreport要素のどちらか一方を記述しなければならない。			
7		object		*	操作の対象となる機器の種別			
8 (end)								

コモンズEDXLデータモデル

